

別紙2：令和2年度 認知症総合支援事業実績

認知症カフェ（計16回開催79名参加）

●認知症の方やその家族、地域住民が気軽に話し、集える場として毎月開催

・コロナ禍のため、サロンや教室等の他の通いの場が減少し、認知症やフレイルが進んでしまったなどの相談も増加。地域の通いの場再開のきっかけにもなるよう、アステラスのみで開催していた認知症カフェを子浦会館と柳瀬会館でも新規開催した。

日	場所	参加数	日	場所	参加数	日	場所	参加数	日	場所	参加数
7月8日	アステラス	3	12月9日	アステラス	中止	1月22日	子浦会館	8	2月11日	柳瀬会館	7
8月12日	アステラス	5	1月13日	アステラス	2	2月26日	子浦会館	11	2月25日	柳瀬会館	7
9月9日	アステラス	3	2月10日	アステラス	2	3月26日	子浦会館	7	3月11日	柳瀬会館	7
10月14日	アステラス	6	3月10日	アステラス	6				3月25日	柳瀬会館	5
11月11日	アステラス	1									

認知症フォーラム～認知症とともに、このまちで～

●一人ひとりが認知症について正しい知識を持ち、助け合えるような認知症の人にやさしいまちづくりの実現のため、令和元年度から継続開催

・コロナおよび大雪のため、延期となったが、2月に認知症フォーラムを開催。役場56名、アステラス6名、ZOOM17名、計79名参加。

※詳細「別紙4：認知症フォーラム報告書」参照

日	場所	参加数	講師・発表者	内容
2月13日	役場大集会室	56	石川県立高松病院 北村 立 院長 相見小学校5年生、樋川小学校5年生	基調講演「認知症になっても安心して暮らしていくために」 取組発表「小学生による認知症サポーター養成講座を受けての発表」 「サロン内での認知症予防」 「介護保険事業所による認知症高齢者への取り組み」
	アステラス	6	宿サロン、柳瀬サロン	
	ZOOM	17	デイよしのや、JAたんぼぼ、GH虹の羽、宝達苑・第2 宝達苑、ちどり園	

別紙2：令和2年度 認知症総合支援事業実績

認知症キャラバン・メイト養成研修

●認知症の方やその家族を地域で見守る認知症サポーターを養成する講師役「認知症キャラバン・メイト」を養成するための研修

・認知症サポーターの講師や認知症カフェの運営をしている認知症キャラバン・メイトの活動者が減少し、現活動者の負担もあったため、認知症キャラバン・メイト養成研修を開催し、新たに19名を養成。

日	場所	養成数	講師及びファシリテーター	内容
2月5日	アステラス	19	石川県立高松病院 畠 真理子看護師	講義「認知症サポーターに伝えたいこと・認知症を理解する」 グループワーク「認知症キャラバン・メイトの役割」

認知症サポーター養成講座（計4回開催65名養成）

●認知症の方やその家族を地域で見守る「認知症サポーター」を養成する講座

・コロナ禍もあり、令和2年度の講座開催件数は減少。オンラインでの受講等、開催形式を工夫して認知症サポーターを養成していく。

日	場所	養成数	対象者	担当キャラバン・メイト	内容
8月8日	瑠璃光薬局 志雄店	11	薬局職員、地域住民	2名	認知症の症状、対応の仕方（店内での対応など）
8月29日	瑠璃光薬局 志雄店	11	薬局職員、地域住民	2名	認知症の症状、対応の仕方（店内での対応など）
9月9日	町民生委員・児童委員協議会	22名（新規） 23名（再）	民生児童委員 主任児童委員	2名	認知症の症状、対応の仕方、寸劇（徘徊高齢者の発見）
11月24日	樋川小学校	21	5年生、担任教諭	2名	認知症って？地域で迷っている高齢者を見かけたらどうする？ 感想の発表

親子福祉体験学習

●5年生12名、保護者12名、担任1名参加。白内障体験、難聴体験、皮膚感覚体験、階段昇降体験、認知症の症状や対応の仕方を学習。

日	場所	養成数	対象者	講師	内容
9月13日	アステラス	25	相見小学校5年生親子 担任教諭	推進員：6名 メイト：3名	高齢者疑似体験 認知症学習

別紙 2 : 令和2年度 認知症総合支援事業実績

CATV寸劇放映

・認知症地域支援推進員およびキャラバン・メイト連絡会内でコロナ禍でできることを話し合い、認知症の見守りの大切さを地域に広めるため、寸劇3パターン撮影し、CATVで放映。

撮影日	タイトル	内容	出演者
10月13日	春ばあちゃんの買い物編	認知症の方が買い物に来たときの店員や地域住民の対応の仕方	アルビス移動販売担当者 推進員：4名
10月29日	春ばあちゃん朝のゴミ出し編	燃えるゴミの日と資源ゴミの日を間違えた認知症の方への地域住民の対応の仕方	推進員：5名
11月18日	春ばあちゃん家に帰れない！編	迷子になった認知症の方を発見者と家族、支援者が連絡のやり取りができる「どこシル伝言板」を用いた対応	推進員：6名 メイト：2名

認知症見守り支援事業 (どこシル伝言板およびSOSネットワーク)

・徘徊高齢者の見守り支援として、新規事業として認知症見守り支援事業を開始し、県内で初めて「どこシル伝言板」を導入。

登録者数	行方不明・発見数	
10	内、行方不明 件数	2
	内、町内での 発見者数	1
	内、町外での 発見者数	1